

# Ambientec

pressmilano

yuki yamamoto

Media Contact

yuki yamamoto | 山本幸

[info@pressmilano.com](mailto:info@pressmilano.com)

[www.pressmilano.com](http://www.pressmilano.com)

t. +39-392-5979612 (Italy)

## アンビエンテック 新ロゴ誕生 田村奈穂氏デザインによる **TURN+**（ターンプラス）発表

コードレス照明ブランド、株式会社アンビエンテック（横浜市神奈川区・代表取締役社長 / 久野 義憲）は、2019年の発表で人気を博した田村奈穂氏のデザインによる **TURN**（ターン）の姉妹モデル、**TURN+**（ターンプラス）を発表します。こちらにはオリジナル新光源LED「サニーサイドアップ」を搭載しました。同時に初めて外国人デザイナーを起用した新ロゴも発表します。

<https://ambientec.co.jp/jp>



### 新製品 **TURN+** / ターンプラス

NYを拠点として活躍するデザイナー 田村奈穂氏 によって 2019年に生まれた **TURN** / ターン の姉妹モデル、**TURN+** / ターンプラスが誕生しました。**TURN** / ターン は手元を照らすタスク照明として、**TURN+** / ターンプラス はその場の雰囲気を作るアンビエント照明として、デザインのコンセプトはそのままに、重厚なクリスタルガラスのシェードと、調光レベルに合わせて微妙に変化する柔らかい光の組合せが、その場にアクセントと上質な華やかさをもたらします。

## アンビエンテック初の外国人デザイナーを起用

新しいロゴをデザインしたエドワード・レイダ氏は、リテール、美容、ライフスタイル、出版などのブランディング・アイデンティティの分野で20年以上のキャリアを持ち、数々の受賞歴のあるクリエイティブ・アートディレクターです。



エドワード・レイダ | Edward Leida  
クリエイティブ・アートディレクター

コンデナスト社のW誌、ハースト社のTown&Country誌、Barneys New Yorkの3社でVice President（チーフデザインディレクター）として務めた後、現在ニューヨークを拠点に自身のブランディング コンサルタントスタジオ Ideal Leida を運営。Cooper Hewitt National Design Awards/ Lifetime Achievement賞、AIGA金賞、Art Directors Club of New York 金賞など多数受賞。コロンビア大学、NYビジュアルアートスクール、パーソンズやプラットで教鞭をとり、講演を行う。

<https://idealleida.com>

「新しいグラフィックは、環境とテクノロジーに対するアンビエンテックのコンセプトをバランスよく強調し、企業のアイデンティティ、価値観、背景を象徴しています。」

by Edward Leida

Ambientec

Ambientec

## アンビエンテックのはじまりと新ロゴ発表について

「アンビエンテックはコードレス照明のブランドとして、少しずつ人々に認知されるようになりました。2009年の会社設立当初は、携帯型のソーラーチャージャーなどを開発し、環境を意識したデザイン家電ブランドを目指してスタートしました。

ところが2011年の東日本大震災を目の当たりにしたその経験が、我々の存在意義やモノづくりへの姿勢を深く考えるきっかけとなり、当初のコンセプトから方向転換することになります。

そもそもモノづくりのルーツは、アンビエンテックの設立から10年前にさかのぼります。アンビエンテックの開発母体となる株式会社エーオーアイ・ジャパンは、カメラ業界でダイバーや水中写真家が使用する水中撮影機材を開発・製造していました。そして光の質にこだわる水中ライトブランド、**RGBBlue /アールジーブルー**を立ち上げ、当時 世の中にはなかった、海中を鮮やかに照らし出すための水中ライト **System 01** を発売します。

この防水技術とバッテリー駆動型LEDシステムが、コンセントから配線することが当たり前だった照明器具を、配線を必要としない新しい灯りの可能性へと導き、更には、カメラ業界で培った精密な設計や精細な製造技術が、短時間で消費されるのでなく、長く大切に使い続けたいと思える“モノ本来の価値観”を高めてくれることに気づきました。

ここに示す新しいブランドロゴは、新たな価値を生み出す我々の存在意識、世の中への姿勢に対するその決意と覚悟を表したものです。」

アンビエンテック 代表取締役社長 久野義憲

ランタンの優しいフォルムと自然光にインスパイアされた **TURN+** は、新開発のLEDによって、明るさだけでなくオレンジ色の濃厚な暖色から温かみのある電球色へと、光色も4段階に変化します。バリエーションは**TURN**同様、3種の金属（ステンレス、真鍮、アルミニウムブラック）で展開。高いレベルの防水構造によって、屋外やバスルームでも使用ができ、6時間の充電で最長500時間の点灯が可能です。



田村奈穂氏デザインの**TURN+ / ターンプラス**は3種類の金属（ステンレス、ブラス、アルミニウムブラック）で展開

「光」は生命力と希望の力強い象徴です。“**TURN+**”は、どんな気分の時にも寄り添いたくなる、そして寄り添ってくれる光であって欲しいと願っています。そっと触れて灯すランプは、感覚や感情に強い絆を生み出します。」 by **Nao Tamura**.



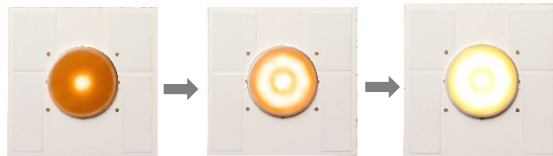
#### 田村奈穂 | Nao Tamura

New York City、Parsons School of Design 卒、工業デザインを専門にする Smart Design を経て独立。現在はニューヨークを拠点に活動中。コミュニケーションデザインを軸に、Issey Miyake の時計、Panasonic のグローバル展開、Lexus のインスタレーション、Palais De Tokyo（現代美術館）での展示など幅広く活動中。

IF Design Award（独）、Red Dot Design Award（独）、IDEA（米）、SaloeSatellite Award 最優秀賞（伊）他、国際的アワードを多数受賞。

<https://naotamura.com>

## ＜TURN+搭載のサニーサイドアップLED＞



＜点灯・調光時の変化＞

アンビエンテックオリジナル新光源 **LED「サニーサイドアップ」**（登録商標第6343157号）を採用  
1900K～2400Kの暖色調光・調色を単一光源で実現！

急速にLED化が進んだ照明器具。その上、昨今では光の色を変えられる照明器具が一般家庭でも使用されるようになってきました。その多くは、電球色(2700K)から昼白色(6500K)までの広い範囲で調色できることが特徴です。



＜サニーサイドアップ LED の色温度変化＞

照度の低い上質な空間は、ろうそくの炎や白熱球のフィラメントが燃焼し始める濃厚なオレンジ色の光(1900K)から、一般的な電球色(2700K)よりも少し手前の暖色までの、絶妙な光色と明るさのバランスによってつくられています。



＜フィラメントが燃焼し始める時の光色の変化＞

2019年に発売した **TURN/ターン**や **Sage/セージ** では2種類の色味のLEDを複数個混ぜ合わせてそのバランスをつくりだしましたが、「サニーサイドアップ」は単一光源で絶妙な光色と明るさを表現できるようになりました。



田村奈穂氏デザインの **TURN/ターン** (2019)と **TURN+/ターンプラス** (2021)  
ウォータープルーフで最大500時間の点灯可能



**TURN/ターン シリーズ** (ステンレス)



製造プロセス

製品に関するお問い合わせ  
株式会社アンビエンテック  
Domestic sales | 内田理美

t. 045-441-0082  
[press@ambientec.co.jp](mailto:press@ambientec.co.jp)  
<http://www.ambientec.co.jp>